

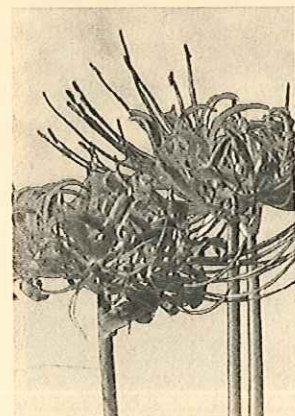
# 大潮だより

# まる 円山 やま

第17号

発行年月日  
平成23年11月1日

発行者  
大潮の里を守る会



## 初めてのヒガンバナまつり

去る9月23日、かねてから大潮ファンクラブの人達から提案のあったヒガンバナまつりを、総勢50名の参加を得て、片山・戸根地区周辺でおこないました。

温暖化のせいか満開にはまだまだでしたが、絶好のまつり日和でした。

午前中はそれぞれの希望によって、周辺の散策や写真撮影などの組と、オハギづくり体験の組に別れ、楽しい時を過ごしました。

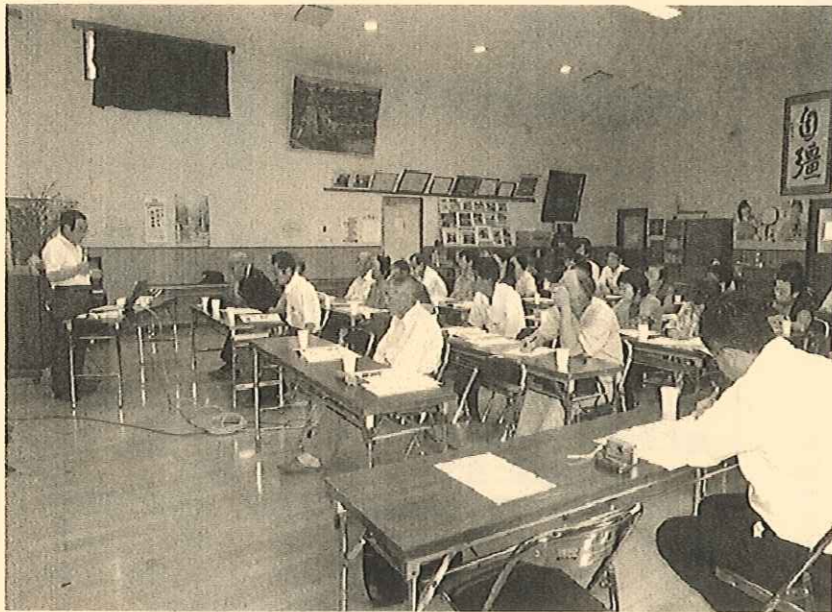
お昼には田舎の店のお弁当とオハギに舌鼓を打ちながら、ファンクラブや後継者の皆さんと楽しい交流ができました。

午後は潮明神社、子安観音、大潮神社、刀禰さまの墓、13仏など、片山・戸根地区の名所(?) 史跡を見て回りました。

「よく大潮に来るけど、こんな隠れた良い所があるとは知らなかった」と皆さん喜んでおられました。  
「来年も是非こうした行事をして欲しい」との声を聞きながら解散しました。



# 大潮の あんなこと こんなこと



吉弘会長さんの説明を聞く

今回の研修の事例は、規模は少し違いますが、大潮の里をまもる会が取り組んでいる活動と方向性は同じであり、進んだ取り組みに感動し、今後の活動に大いに参考になる視察研修でした。

和の里おだ」を立ち上げ、地域づくりに取り組んでおられました。

活動の内容は、廃校となった小学校の活用や定年退職者の帰郷の推進、毎月の広報発行などで、活発な活動を展開されていました。また、農地を守り、いつまでも農業が続けられ、若者があとを継いでくれる環境づくりのため、農事組合法人「ファームおだ」を設立、集落全体を一農場と捕らえた農業経営をされており、既存の施設や資源を有効活用して、農林産物の生産加工、販売を積極的に展開し、大きな成果を上げておられました。

去る8月24日、大潮の里をまもる会の会員28名が参加して、地域づくりの先進地である、東広島市小田地区へ視察研修に行きました。

小田地区は東広島市の東北部にあり、地域の規模は、集落数、人口、農家戸数、農地面積とも、大潮のほぼ3倍の規模です。小田地区も少子高齢化と合併で小学校や行政施設の統廃合が進められる中、住民の危機意識が高まり、自分達の地域は自分達の手でつくり、活性化しよう、共同と、「共

## 研修視察にいきました



地区にある直売所「寄りんさい屋」のみなさんと

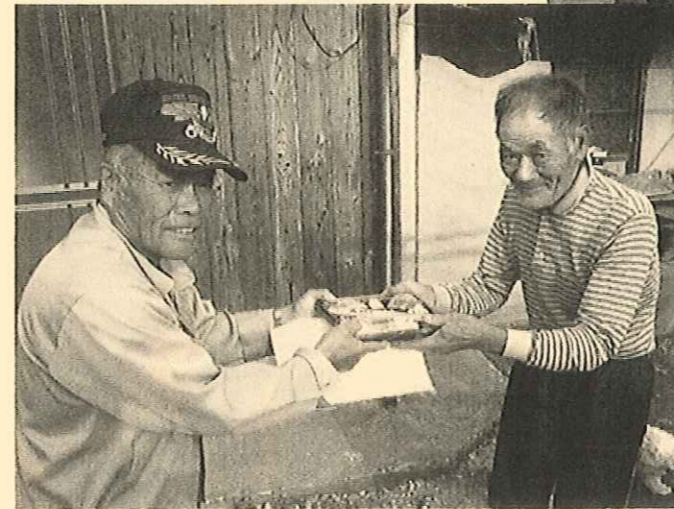


お元気ですか？

大潮の里をまもる会では、防災・福祉部会の23年度の活動の一つとして、大潮地域のために長年ご活躍された地区在住の75歳以上のみなさん、57名の方に福祉弁当として、ささやかな夕食を配布しました。

田舎の店の加工部の皆さんが腕を奮って調理されたお弁当を、各集落の世話人の方が対象者のお宅を訪問しお渡しするとともに「お元気ですか」「お変わりないですか」とお声がけをしました。

大潮の里をまもる会では、これからもみんなが安心して住み続けられる地域づくりを進めるため、防災や福祉の面でも活動をしなければと考えていますので、ご意見・アイデアをお寄せください。



お変わりないですか？

防犯や福祉の面でも活動をしなければと考えていますので、ご意見・アイデアをお寄せください。

# 配食サービスを実施

## 今年も楽しく川遊び



水生生物の観察



大潮クイズに挑戦



昔の遊び「ゴリ押し」



昔の遊び「水鉄砲」

昨年引き続き今年も「子どもエコクラブ」と大潮出身の子供さんを招き、夏の交流会を開きました。

子供さんたちには大潮の夏を満喫していただき、私たちも童心に帰り、楽しい一日をすごしました。



お屋こはんはソーマン流し

### ご存知ですか？

大潮の人より大潮を愛してる人！

ダークグレーの三菱パジェロ「イオ」に乗り、殆んど毎日のように大潮に通い、大潮の里をまもる会設立記念植樹をした場所の藪を切り、きれいな花畑に作り変えた方がいらっしやいます。その方は高橋好弘さんです。

### 第二の故郷「大潮」

周南市周陽 高橋好弘さん



なり、素直に受け入れられるようになりました。そんな折、石川会長さんと出会う機会があり、会長さんの意に共感し、「大潮の里をまもる会」の一員になりました。

会員の1人として迷惑をかけないよう、生ある限り私の「第二の故郷」として育てていきたいと思っております。今後どうぞよろしくお願いたします。

「兎追いし彼の山、小鮒釣りし彼の川」、私の出身は宮城県で、花の百名山の一座「栗駒山」の山麓。冬は1メートルの雪が積もる「ササニシキ」「ひとめぼれ」の発祥の地です。

幼い頃から大自然の中で遊び、学び、ホタルを追いかけまわりました。

20歳代で上京し就職。

40歳代は広島・山口県へ転職。60歳、徳山で定年を迎え退職。

妻の出身が島根県有福温泉のため年3回以上帰郷。

その頃から鹿野や大潮の国道沿いの風景が、故郷の四季の風景に似ているため好きに







芋堀  
賀谷岩男さん

### 招連者さん紹介

今回は芋堀の賀谷岩男さんを訪問しました。  
賀谷さんは昭和3年11月生まれ、82歳ですが、「11月の多賀神社のお祭りには83歳になります」と笑っておられました。  
大変お元気で、一杯の晩酌と良く食べて身体を動かすことが健康の秘訣だと仰っていました。が、若い頃から山仕事で身体を鍛え、狩猟を40年も続けておられ、今年も有害鳥獣捕獲の許可をとられ、農家の天敵イノシシを鉄砲や罠で20頭も捕獲され

たそうです。  
こうした賀谷さんのご活躍で農作物への被害も少なくなることでしよう。  
また、畑には立派な野菜を沢山作っておられ驚きました。  
これからもお体に気をつけられ、いつまでもお元気でイノシシの捕獲もつづけられ、農家のみんなが安心して農作物を作れるよう頑張っていただきたいものです。



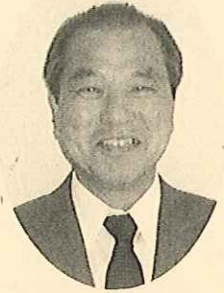
大潮の里をまもる会も発足以来1年半が経過し、ホタルまつりやヒガンバナまつりの実施、看板の設置や環境整備、研修視察の実施など、地域の皆さんやファンクラブ会員のご協力で活動が前進しています。  
今回はじめて行ったお弁当の配布は如何だったでしょうか。回数は少ないのですが、今後も続ける計画ですし、希望者には別途有料での配布も行う計画です。

### 寄稿

## 大自然はいつまでも

横浜市

賀谷 勝さん



「円山」懐かしいな～  
何時も忘れたことはない。高校に入学して鹿野を離れたが、その当時はチョコチョコ帰省できた。  
しかし、横浜に来てからはそうもいかない。  
以前はバスで帰って円山が見えると、円山にまるで目・鼻・口が付いているかのように「お帰り」とあたたかく迎えてくれ、心の中で思わず「ただいま」と叫んでいる。そして小学校の頃が思い出される。  
入学式の時、H君がオシッコを漏らしたこと。  
2年生の頃「白い牙」「大地」など、難しい小説を読みあさったこと。3年生の時は放課後屋根に上り、スズメの雛を捕まえてロッカーで育てたこと。  
1メートル近くもあるグライダーを作り、円山の2合目辺りから飛ばしたこと（2機目はよく飛んだ）  
6年生の夏休みは暑い中、毎日ソフトボールの練習に打ち込み、20チーム近い中で優勝し、ホームランも打ったな～。  
そんな僕達の成長をず～と見守り送り出してくれた。今は多くの木々に埋もれて冬眠に入ったのか、昔の面影はない。  
しかし、地球のある限り、何時の日かきっとその大きくて明るい雄姿を見せて「お帰り」と語りかけてくれるだろう。  
ありがとう「円山」。そして感謝「円山」

### 今年もルーラルフェスタにご協力を

恒例のルーラルフェスタ、今年も11月12日(土)13日(日)の2日間、国道315・376号線沿線でイベントがおこなわれます。  
毎年のことながら、地元をはじめ大勢の方々のお力添えを戴いて参加しておりますが、今年もご協力をお願いいたします。  
なお、田舎の店では地域の店でありたいと願い、ご入会をお待ちしております。  
イベントへの多くの方のご参加をお願いいたします。



### 編集後記